


令和4年度指定管理者運営状況検証シート

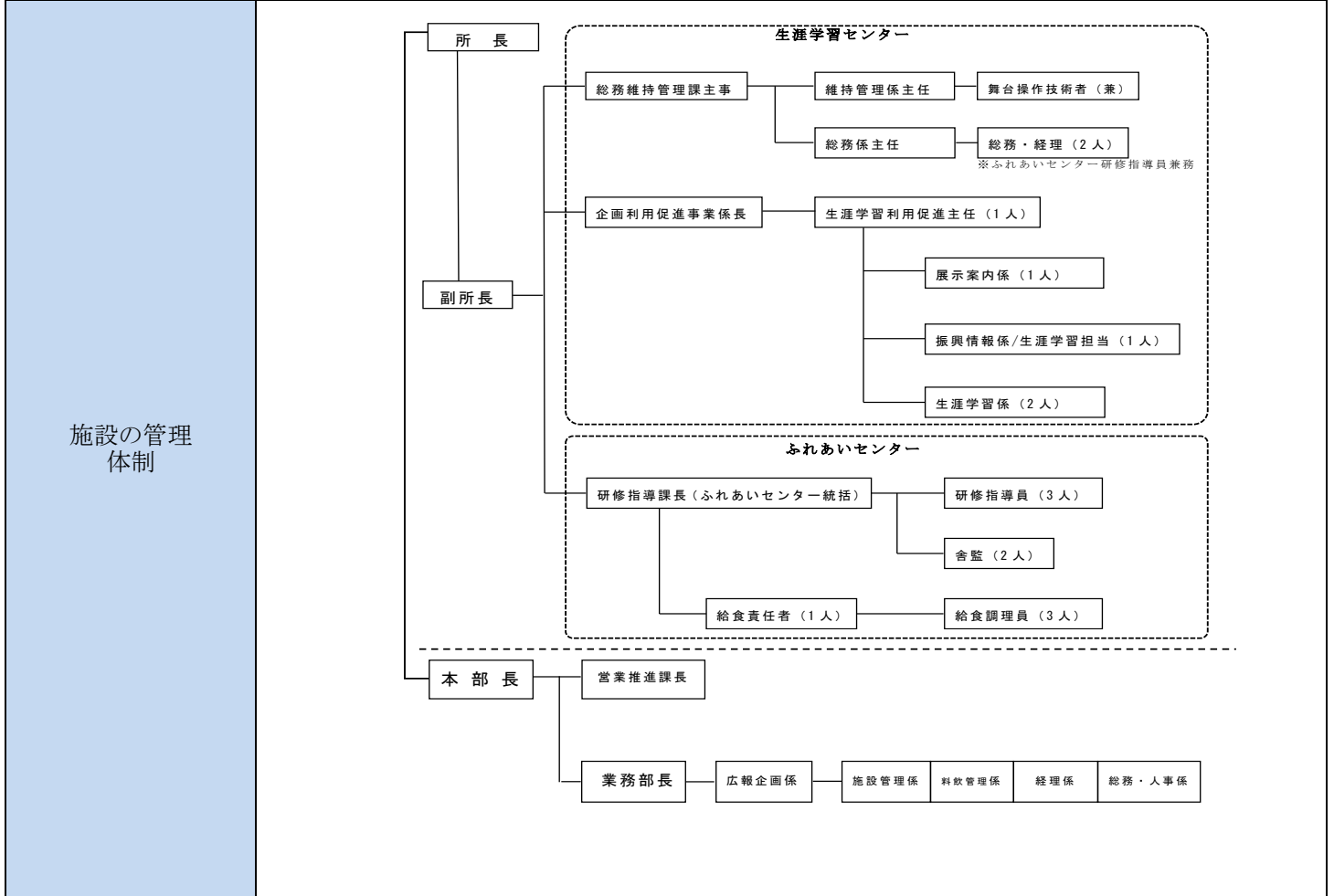
1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県生涯学習センター 平成3年4月1日	所在地 電話 H P	愛媛県松山市上野町甲560番地 089-963-2111 http://www.i-manabi.jp/		
県所管課	観光スポーツ文化局文化局まなび推進課	指定管理者の名称	株式会社レスパスココーポレーション		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の生涯にわたる学習活動を促進し、及び援助するために必要な学習情報の提供、調査研究、指導者の養成、学習機会の提供等の各種事業の実施及び施設の提供	施設の外觀
施設内容	愛媛人物博物館、パソコン演習室、第1～5研修室、大研修室、ミーティングルーム、演劇レッスン室、音楽レッスン室、県民小劇場、アトリウム	
指定管理者が行う業務	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習センターの事業の実施に関する業務(学習情報の収集及び提供、生涯学習に関する学習機会の提供等) ○生涯学習センターの利用の許可に関する業務 ○生涯学習センターの利用に係る料金の収受に関する業務 ○生涯学習センターの利用の促進に関する業務 ○生涯学習センターの施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ○その他知事が定める業務 ○生涯学習センターの資料の特別利用に係る料金の収納事務に関する業務 	



3 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

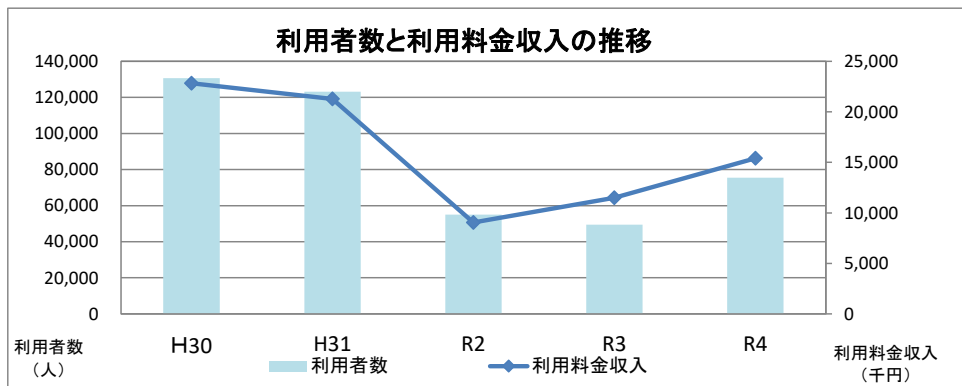
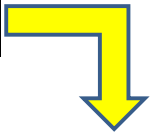
年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年 間 利 用 者 数	130,633 人	123,101 人	55,069 人	49,400 人	75,511 人

(2) 収支状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取 (A) 入	212,057 千円	219,110 千円	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円
委 託 料	155,187 千円	164,121 千円	163,371 千円	163,371 千円	163,372 千円
委 託 料 (補 正 額) ※1	— 千円	195 千円	4,278 千円	2,683 千円	3,726 千円
利 用 料 金 収 入	22,829 千円	21,270 千円	9,049 千円	11,482 千円	15,399 千円
そ の 他 収 入	34,041 千円	33,524 千円	9,114 千円	9,108 千円	14,947 千円
支 (B) 出	212,090 千円	218,966 千円	185,812 千円	186,644 千円	197,444 千円
事 業 費	34,182 千円	37,836 千円	19,870 千円	21,637 千円	24,229 千円
維 持 管 理 費	47,414 千円	51,984 千円	50,189 千円	45,927 千円	49,437 千円
人 件 費	84,267 千円	83,951 千円	79,674 千円	77,584 千円	82,857 千円
そ の 他 支 出	46,227 千円	45,195 千円	36,079 千円	41,496 千円	40,921 千円
取 (A) - (B) 支	▲ 33 千円	144 千円	0 千円	0 千円	0 千円

(※1) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載

(※2) 表中の各数値について、一体的管理を行うえひめ青少年ふれあいセンターと合わせた金額を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

8月9日(火)に「特別警戒期間」から、「愛媛県BA.5対策強化宣言」が発出されたことにより貸館の貸出条件・管理の強化をしたり、8月23日(火)より「愛媛県BA.5医療危機宣言」が発出されたことにより、9月16日(金)まで、新規貸館予約を中止したりしたが、年間での利用者は増加し、前年比52.9%の増加となった。それに伴い、利用料金収入も増加し、前年比34.1%の増加となった。新型コロナウイルスの影響等により、令和4年度の生涯学習センター目標利用者数132,000人(達成率 57.2%)を大きく下回り、補正予算で委託料を増額した。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>○従来の宣伝広報による利用促進のほか、学習相談として、県が行う地域学に関する情報「えひめの記憶」等の相談に、県駐在職員と連携をとり迅速な回答を行った。</p> <p>○生涯学習情報提供システムの活用として、県作成の優れた建築物等を紹介する「えひめの近代建築データベース」をPRした。</p> <p>○学び舎えひめに関わる冊子「学び舎えひめ悠々大学に学びて2022」を作成し、関係機関等に配布した。</p> <p>○愛媛人物博物館常設展示のリニューアルオープンを告知する「昇り(旗)」を館内外に設置し広報活動を行った。</p>	<p>新しい講座や大規模イベントをはじめ、坊ちゃん劇場とコラボした新しい企画イベントも始めるなど、施設がより利用しやすくなるような事業展開を心がけている。愛媛県生涯学習推進計画(第五次)で掲げる生涯学習情報システムでの生涯学習講師の登録者数や「学び舎えひめ」対象講座の登録数が目標を達成するなど、適切に利便性及びサービス向上に努めていると評価できる。</p>		A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>○冷温水機・外気用モーターダンパーなどの空調機器を修繕し快適な環境と同時に省エネを実現するとともに、各研修室にサーキュレーターを設置して感染リスクの低減を図った。</p> <p>○アトリウム天井からの落下物・雨漏りを防止する為、改修工事を行い、利用者が安全快適に利用出来るようにした。</p> <p>○演劇レッスン室リリウムの全面張替えを行い、利用者に安心・安全で快適な環境を提供した。</p>	<p>コロナ禍における適切な感染対策や大規模修繕を県と協議して効果的に実施している。施設の老朽化が進行する中であって、早急な修繕が必要になった場合にも迅速に対応し利用者の安全性・快適性の確保に大きく貢献している。</p>		A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

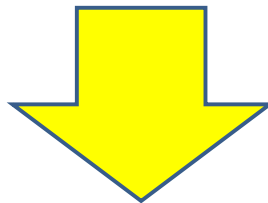
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>○アンケート箱の設置及びホームページでの問い合わせ、また講座での要望の聞き取りを行い対応した。アンケート回答数は、773件であり、内訳は、委託事業コミュニティ・カレッジ696件、図書室2件、貸館利用者75件であった。</p>	<p>委託事業コミュニティ・カレッジの回答については、一年間まとめてホームページ上で公開し、その他については、月毎にまとめてホームページ上で迅速に公開している。利用者のニーズに沿った事業実施に努めている。</p>		A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>○ホームページでは、講座・事業・イベント情報等をタイムリーに掲載し情報を提供した。事業等に関し、ピックアップコーナーを設け特にアピールした。</p> <p>○メディア広告では、愛媛県広報誌「愛顔のえひめ」他、県内新聞社、放送関係、情報誌等プレスリリースを行い、告知協力を依頼した。</p> <p>○愛媛新聞エリアサービス荏原生活カレンダーを利用し、毎月イベント情報などを提供した。</p> <p>○愛媛経済レポートで毎月1回、愛媛の偉人紹介及び貸館の案内告知を行った。愛媛CATVとの連携で、たうんチャンネル「すごいぞ！愛媛偉人発見！」にて毎月2名の偉人を紹介し、愛媛人物博物館の認知度向上を図った。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を年間通じて実施したため、集客を図る広報宣伝は積極的に実施することができなかったが、コミュニティ・カレッジでの他会場と同時に講座を中継で開催するオンライン講座の東予・南予での実施や、人物博物館企画展関連講座でのYouTubeライブ配信の実施など、創意工夫が見られる。</p>		A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>指定管理者制度導入後、マスコットキャラクター設定やグッズ販売、積極的な広報活動、各種事業の充実(生涯学習講座、企画展、生涯学習ふれあいフェスタ)、アンケートも行き、利用者のニーズに沿った事業実施に努め、直営時代に比べ、利用者・利用収入ともに大幅に増加し、かつ、年々増加傾向を維持してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、平成31年度と比べ引き続き利用者数及び利用料収入が大幅な減少となった。今後は、感染症対策を実施しつつ、感染終息後の利用者の増加を目指し、貸館利用者のリピーターの確保とともに、新規利用者の開拓に力を入れていく必要がある。</p>